

令和 2 年度

エコやまぐち農産物 栽培管理記録

品目

野菜（かぼちゃ）

認証区分

エコ100・エコ50

ほ場番号 所在地 (アール)	栽培面積 (アール)	作業実績		使用資材実績										
				施肥・土づくり等					病害虫・雑草防除等					
		作業名	時期	名 称	成分含有率 N-P-K	使用量 (kg/10a)	窒素(N)量 (kg/10a) 全体	内化学肥料由来	使用時期	名 称	成分名	用途	使用成分回数 (回)	使用時期
	9.0	前作収穫終了 耕起耕起播種定植	令和1年 9月10日 令和2年 4月29日 5月2日 6月22日 7月4日	育苗培土 (ほ場) 牛糞堆肥 コア有機 テンテン					使用する資材はすべて記載すること。 令和2年 4月25日	(苗・種子) ※				未消毒種購入
計	9								4月18日 4月29日 4月29日	(ほ場)				
収穫量実績 kg/10a	出荷量実績 kg/10a	計				17.3 kg/10a	0.0 kg/10a	削減率 100.0%	計		0 回	削減率 100.0%		
			山口県基準			14 kg/10a		山口県基準			17 回			

※苗・種子への使用農薬回数についても記載すること
エコ100の申請において不使用的種子・苗の入手が困難な場合は、使用農薬について記入した上で、合計カウントしないこと。

用紙が1枚で不足する場合には複数枚利用すること
「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」の内容を満たす別の任意様式を使われても構いませんが、削減率を追加記載してください。

令和 2 年度

エコやまぐち農産物 栽培管理記録

品目

野菜 (ブロッコリー)

認証区分

エコ100・エコ50

ル環に付いたアーチ豆種子即効オストー

ほ場番号 所在地 (アール)	栽培面積 (アール)	作業実績		使用資材実績						病害虫・雑草防除等				
				施肥・土づくり等				使用時期	名 称	成分名	用途	使用成分回数 (回)	使用時期	
		作業名	時期	名 称	成分含有率 N-P-K	使用量 (kg/10a)	窒素(N)量 (kg/10a) 全体 内化学肥料由来							
	3.0	前作収穫終了 耕起耕起播種	令和1年9月10日 令和2年1月29日 3月4日 7月14日	育苗培土 (ほ場) 牛糞堆肥 コア有機 テンテン				使用する資材はすべて記載すること。 令和2年4月25日	(苗・種子)※					未消毒種購入
計	3								(ほ場)					
収穫量実績		出荷量実績		計		26.6 kg/10a	0.0 kg/10a	削減率	計		0 回	削減率		
kg/10a		kg/10a		山口県基準		27.9 kg/10a	100.0%	山口県基準			16 回	100.0%		

※苗・種子への使用農薬回数についても記載すること
エコ100の申請において不使用の種子・苗の入手が困難な場合は、使用農薬について記入した上で、合計カウントしないこと。

用紙が1枚で不足する場合には複数枚利用すること

「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」の内容を満たす別の任意様式を使われても構いませんが、削減率を追加記載してください。

令和 2 年度

エコやまぐち農産物 栽培管理記録

品目

野菜（キャベツ）

認証区分

エコ100・エコ50

ほ場番号 所在地 (アール)	栽培面積 3.0	作業実績		使用資材実績									
				施肥・土づくり等					病害虫・雑草防除等				
		作業名	時期	名 称	成分含有率 N-P-K	使用量 (kg/10a)	窒素(N)量 (kg/10a)	使用時期	名 称	成分名	用途	使用成分回数 (回)	使用時期
		前作収穫終了 耕起耕起播種	令和1年 9月10日 令和2年 4月29日 5月2日 7月25日	育苗培土 (ほ場) 牛糞堆肥 コア有機 テンテン				使用する資材はすべて記載すること。 令和2年 4月25日	(苗・種子) ※ (ほ場)				未消毒種購入
計	3												
収穫量実績 kg/10a		出荷量実績 kg/10a		計		55.6 -26.0 kg/10a	0.0 kg/10a	削減率 100.0%	計		0 回	削減率 100.0%	
				山口県基準		28.6 kg/10a		山口県基準			22 回		

用紙が1枚で不足する場合には複数枚利用すること。

「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」の内容を満たす別の任意様式を使われても構いませんが、削減率を追加記載してください。

※苗・種子への使用農薬回数についても記載すること。
 エコ100の申請において不使用的種子・苗の入手が困難な場合は、使用農薬について記入した上で、合計カウントしないこと。